

観点	番号	内 容 (☆は運営協議委員用の質問内容、保護者への質問は児童をお子さんへと変更している。)	1～3年 児童	4～6年 児童	保護者	学校運営 協議会	職員	学 校 考 察	学校運営協議会考察・意見(改善案☆)
基礎・基本の確実な定着に関すること	1	基本的な学習習慣の定着と児童が主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、単元テストにおいて全国平均を80%の児童が上回るようにする。 ☆学校参観から、児童は授業に真剣に学習に取り組んでいる。	3.33	3.06	3.29	3.43	2.80	1 児童結果は、学習に向かう気持ちや学習の達成感が高いといえる。一方、職員の結果からは、テストにおいて学習内容習得に個人差が見られることや学習態度の育成が不十分であることがうかがえる。算数では、授業の中に復習の時間を設け、その成果が見られているため、継続していく。	○先生方の指導により、文を書いたり、図工の創作などの表現活動が素晴らしく、子どもたちの楽しさや思いが伝わってくる。
	2	個に応じた指導や言語活動の充実を図るなど授業改善に努め、児童・教師相互・保護者による授業評価で肯定的な評価が80%以上になることを目指す。 ☆学校参観から、児童は、授業を通して学習内容の理解を深めている。	3.73	3.18	3.46	3.29	3.00	2 参観等で教師の授業改善の姿勢が理解いただけていると考える。来年度完全複式学級に向け、児童が主体的に学習を進める授業形態を本年度中に取り入れていく。	○昭和時代の学校教育とは異なるが、個に応じた授業・指導でよいと思う。
	3	図書環境を整備し、読書活動を推進するとともに、表現活動の場の工夫や作品応募に積極的に取り組み、自分の思いや考えを表現する力を伸ばす。(家でも進んで読書をしている。) ☆児童は、本に慣れ親しみ、進んで本を読もうとしている。	3.33	2.76	1.86	3.43	3.00	3 図書貸し出しを増やす工夫や読み聞かせにより、児童の学校での読書活動は活発といえるが、家庭では結果が低い。家庭との連携を図る必要がある。	○今も昔も本を読む子、読まない子はいたが、保護者の読書への興味が子どもに影響するかもしれない。
	4	学習において、一人一台端末等ICTの効果的な活用を図り、児童がPC(タブレット)を用いて自分の考えを表したり、積極的に問題を解くことができるようにする。 ☆学校は、授業でタブレットやICTの活用を進めている。	3.53	3.00	3.59	3.29	3.00		☆地域の方への挨拶や学校の授業での発表や行事での司会進行など元気よく大きい声を出してほしい。
基本的な生活習慣の豊かな育成に関すること	5	元気なあいさつ・返事、正しい言葉遣いができ、廊下歩行等のマナーを守れるようにする。 ☆児童は、学校や自分たちの住んでいる地域で、元気なあいさつや返事、正しい言葉遣いができ、きまりを守って生活している。	3.60	3.12	2.86	2.86	2.60	5 あいさつや返事については、児童と保護者等(大人)との結果の差が大きい。相手に伝わる元気なあいさつや返事ができているかの認識の違いがあると考える。本年度行っている児童主体であいさつを広げる活動の継続を行っている。また、日常の学校生活において、はっきりと発言するなどの指導に力を入れる必要がある。	○参観日や読み聞かせの折、元気に挨拶してくれる児童が多い。
	6	清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組めるようにする。 ☆学校参観から、児童は、清掃・ボランティア、栽培活動に進んで取り組んでいる。	3.87	3.47	2.96	3.29	3.20	6 毎週火曜朝のボランティア活動や一人5鉢運動で実際に活動を行うことにより高い結果が得られたと考える。今後、教育課程外の自主的なボランティア活動へと広げていく教師の声かけや手立ても必要である。	○休日に会うとよく挨拶してくれる。一人一人はよく挨拶してくれるが、登下校の挨拶は(すれ違う人が少ないからか)少しさびしい。言葉遣いは、時には方言(諸県弁)でもよいのではないかと考える。
	7	人権教育・道徳教育の充実を図り、自他の生命の尊重と他を思いやる心を育てるとともに、思慮深く善悪を判断して行動できるようにする。 ☆学校参観や地域での活動から、優しく人に接し、親切にするとともに、時と場を考えた行動ができています。	3.07	3.06	3.10	3.00	2.40	7 道徳の授業や人権教育が実際場面での思いやる言動に結びついていないと考えられる。これまで以上に学校での児童の様子を家庭と共有し、児童に寄り添った指導を行っていく。	○挨拶をする子は多いが、(問いかけに)返事をしない子が大半である。意思表示をもっとしてほしい。
健康・安全・体力の向上に関すること	8	安全指導の徹底を図り、命を大切にすする心、態度を育成する。 ☆学校参観から、児童は自分や友達のことを大切にし、安全に気を付けて生活している。	3.93	3.76	3.38	3.00	3.00	8 交通事故や大きなけががなく過ごすことができている。交通安全指導や避難訓練による危険予知や判断する力を育成する指導を続けていく。	○登下校時は、車の交通量が多いため、引き続き安全指導を継続してほしい。
	9	保健指導や食育の充実を図り、健康に生活できる力を育てる。 ☆学校参観から、児童は、健康や安全に気を付けて生活している。	3.73	3.76	3.31	3.14	3.20	9 感染症対策からの手指消毒や手洗いの励行によるものと考えられる。また、養護教諭による食育の放送の効果も見られ、今後も継続していく。	○地域合同運動会の協議である拡大委員会を設け、1年の学校運営の流れを理解してもらえた。
	10	体力向上プランに沿って、体育科学習指導や教科外における活動の充実を図り、児童一人一人の課題となっている体力の向上に努め、スポーツテストのA・B・C判定90%以上を目指す。 ☆学校参観から、児童は、進んで運動し、自分の身体を鍛えている。	3.33	3.35	2.79	3.00	2.80	10 児童は身体を動かすことを好み、昼休み時間は外遊びを積極的に行っている結果であると推察される。スポーツテストでは、握力・上体起こし・ボール投げの結果が高まった学年が多かった。教室にハンドグリップを設置し、手軽に運動できる環境の効果と考える。一方、持久力を要するシャトルランの結果は下がっていた。学年によって、体力の差が見られるため、無理なく積み重ねられる体力向上プランの作成が必要である。	○合同運動会の準備や片付け等、公民館長の協力が見られた。 ☆児童も自転車に乗る時は、ヘルメット着用がのぞまれる。
学地域づくりに根ざし開かれたこと	11	保護者や地域の方の評価や意見を受け、連携して教育活動にあたり、保護者や地域の方の期待に応える学校づくりを推進する。 ☆学校は、学校の教育活動について適切にお知らせをするとともに、地域の方々からの要望に対して適切に対応している。						11・12 高い結果を得られた。「麓っ子だより」の地域回覧やホームページの学校の様子紹介が家庭・地域に浸透していると思われる。感染症対策をとり、多くの支えの下、地域との行事を絶やさず開催することができた。今後も長く続く地域・保護者・学校の連携のあり方を見出していきたい。	○「人形浄瑠璃」等、伝承活動を頑張っている。小学校を卒業しても、時には、保存会に顔を見せてほしい。
	12	文弥節人形浄瑠璃の伝承活動ならびに地域との交流や体験活動に取り組むとともに、地域の人材や施設・文化財を積極的に活用し、ふるさとを愛する心や感動する心、感謝する心を育てる。 ☆学校は、地域の伝承活動(人形浄瑠璃など)や行事に積極的に取り組んでいる。						13 近隣の小学校・中学校とは合同遠足等連携を図れているが、麓地区の保育所はなく、入学児童も少ないため、学校として保育園等との連携が難しい状況である。保育園の小学校訪問の機会を有効に活用していく。	○麓小にはたくさんのおいところがあるが、「人形浄瑠璃伝承活動」はとても素晴らしいことなので、大変でしょうが今後も頑張ってもらいたい。
	13	保育所・近隣の小学校・中学校との連携と相互評価を深め、系統性・一貫性を意識した共通指導と個に応じた指導を充実させる。 ☆学校は、地域の保育所・小学校・中学校・地域との連携を深めて教育活動に取り組んでいる。						3.68	3.29

いただいた御意見

- 〔学校運営協議会〕  
 ○ 「のびよ麓っ子」で子どもたちの様子・作品等、地域全員が見て、知ることができるのでこれからも続けてほしい。毎月楽しみです。  
 ○ 授業参観ありがとうございました。参観をして、麓小の少人数のよさを感じていましたが、意見の発表や交換となると、広い視野に欠ける場合もあるのでは、と考えさせられました。動画やVTR等を活用して様々な考え方があることを知らせるのも大事だと思います。他校とのネットでの交流等取り入れていけないものでしょうか。

- 〔保護者〕  
 ○ 休みの日等、子どもたちが集まって遊んでいる事は仲が良くていいことだと思いますが、道路に広がって歩いているので危ないと思いました。